



4 日本経済新聞社 第8回「企業の環境経営度」調査の評価結果～エネルギー業第1位～

2004年9月に実施された日本経済新聞社第8回「企業の環境経営度」調査において、昨年に引き続きエネルギー業(電力・ガス)17社中第1位の評価をいただきました。

1 調査の概要

この調査は、企業を環境経営①への取り組み状況により評価・ランキングするもので、1997年から、毎年度実施されています。

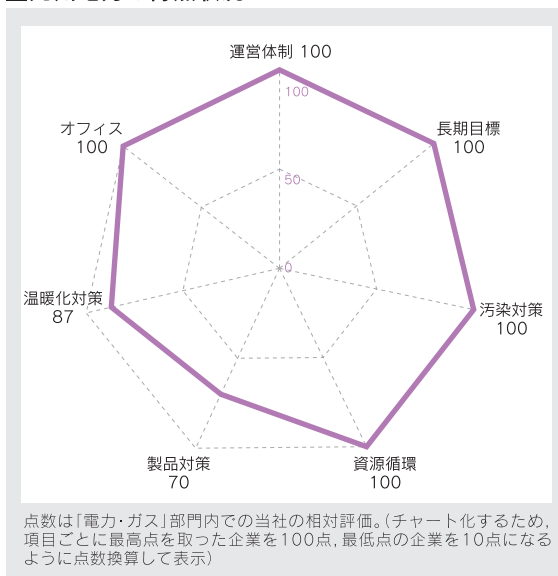
その結果は、日本経済新聞、日経産業新聞紙上で公表されており、社会の関心も高まっています。

今回の調査の特徴は、工場などに比べ、温室効果ガス削減などに関し取り組み余地が大きいとされるオフィスでの環境活動について、新たに評価項目が設けられたことなどです。

■調査概要

実施期間	2004年9月～10月	
調査方法	質問票の郵送及び環境報告書等により調査 ・上場企業等の製造業1,778社、非製造業(含:エネルギー、建設業)2,240社が対象。 ・有効回答率は、製造業33.2%、非製造業21.0%	
評価手法	各設問(52問:追加設問除く)の得点を、以下の7つの項目に整理・合算。得点に基づき「製造業」「非製造業」「電力・ガス」など業種ごとにランキング	
7つの評価項目	運営体制	環境会計①システムの導入、情報公開、環境教育など体制・制度面
	長期目標	環境側面の継続的改善に向けた長期的目標の有無
	汚染対策	大気汚染①物質の排出状況、化学物質管理・土壌汚染①対策への取り組み状況
	資源循環	廃棄物量・リサイクルへの取り組み状況、廃棄物の管理状況など
	製品対策	製品設計から生産・廃棄までのライフサイクルの環境対策、エネルギー移送時のCO ₂ 排出状況など
	温暖化対策	温室効果ガス排出量把握、削減目標の設定、達成に向けた取り組みなど
	オフィス	オフィスにおける各種環境対策の実施状況

■九州電力の得点状況



個別の調査項目では、7項目のうち「運営体制」「長期目標」「汚染対策」「資源循環」「オフィス」の5項目においてトップの評価を受けています。

「温暖化対策」は17社中5位、「製品対策」は6位にランキングされていますが、分析の結果、環境負荷①データの把握・公表等に改善余地があったため、今回発行の環境アクションレポートでは、この点を充実させました。

(具体的改善点)

- これまでのCO₂に加え、その他の京都議定書の削減対象ガス(CH₄①, N₂O①, HFC①, PFC①, SF₆①)データを追加
- 自社・グループ企業などが普及・販売している環境製品(エコキュート①, リサイクル蛍光灯など)による環境負荷削減効果を追加
- 建設中の事業所(小丸川発電所建設所)の環境負荷データを追加(2005年度は小丸川発電所建設所でサイトレポートを発行)

また、今後ともグループ全体での取り組みが評価されること、また、グループの環境経営推進の取り組みを、当初の26社から44社ベースに拡大していることから、グループ全体の環境活動のレベル向上について努めていくことにしています。

具体的には、京都議定書の発効やそれに伴う日本政府の京都議定書目標達成計画①により、新たに取り組みが必要となる事項(温室効果ガス排出量算定・公表など)等についてグループ一体となって取り組みを進めていきます。

2 調査結果から見る九州電力の環境経営の状況

これまで進めてきたグループを挙げての環境経営が浸透した成果として、2003年度のSO_x①, NO_x①排出量の削減、産業廃棄物①リサイクル率①の向上、原子力利用率の向上等によりCO₂排出原単位①が低減していることなどが評価を受けています。(2004年12月6日 日経産業新聞などより)

用語説明

詳細については用語集を参照ください。

環境会計

事業活動における環境保全のためのコストとその活動により得られた効果を認識し、可能な限り定量的(貨幣単位又は物量単位)に測定し伝達する仕組み。

土壌汚染

一般的には、重金属や揮発性有機化合物などの有害汚染物質が、何らかの理由で曝露し、土壌表層やその地下土壌、場合によっては地下水にまで浸透した状態を指す。土壌汚染対策法では、その対象となる物質名や基準値、調査内容等が定められている。

エコキュート(CO₂冷媒ヒートポンプ給湯器)

自然冷媒(CO₂:二酸化炭素)を冷媒に使用したヒートポンプ給湯器の総称で、電気温水器と同様に夜間に貯湯する。

京都議定書目標達成計画

地球温暖化対策推進大綱を引き継ぐものとして、京都議定書の6%削減約束の達成に向けた我が国の対策・施策を明らかにした政府の計画。

- ・環境経営
- ・大気汚染
- ・SO_x(硫黄酸化物)
- ・NO_x(窒素酸化物)
- ・産業廃棄物(産廃)
- ・リサイクル率
- ・CO₂排出原単位
- ・環境負荷
- ・CH₄(メタン)
- ・N₂O(一酸化二窒素)
- ・HFC(ハイドロフルオロカーボン)
- ・PFC(パーフルオロカーボン)
- ・SF₆(六フッ化硫黄)